

# 血友病児の教育的取扱いについて

国立特殊教育総合研究所  
(病弱教育研究部長) 永 峰 博

## [1] 血友病児の運動について

### 1. 軽度関節症児の運動負荷について

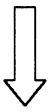
- 〈目的〉 関節症児に運動負荷を与えることの可否について。(前年より継続)
- 〈対象〉 軽度関節症児で思春期の影響が少いと考えられる小学校2～4年生4名。
- 〈方法〉 医師の指示による運動処方により、毎日15～30分漸増的に主として下肢の運動を負荷し、家庭教師的に週1～2回訪問し、実施をチェックした。  
同時に、出血回数、A H G使用本数をチェックした。
- 〈結 集〉 ① 徒手筋力テストの範囲内では著明な筋肉の増加は認められなかったが、子どもや親の感じではしっかりしてきたという。
- ② 出血回数、A H G使用本数は前3カ月に比し、増減はなかった。

### 2. 血友病児に対する水泳について

- 〈対象〉 医師の許可を受け、自発的にスイミングクラブに通っている生徒3名。
- 〈方法〉 訪問による視察・問題点聴取
- 〈問題点〉 ① 到達度クラスが下の時は無事。
- ② 上級になるに従い、意欲的にも、技術指導上にも無理がくる。
- ③ クラブによって差が(指導方針に)ある。(事前調査が不可欠である。)
- ④ 平泳の両足を引きつける動作、プールサイドに腰かけてのバタ足に問題がある。



**検索用テキスト** OCR(光学的文字認識)ソフト使用  
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



〔1〕血友病児の運動について

1. 軽度関節症児の運動負荷について
2. 血友病児に対する水泳について